

## 第2回ひょうご・データ利活用プラン(仮称)検討懇話会における意見・提案

日時 平成30年12月5日(水) 15:00～17:00  
 場所 兵庫県庁3号館 7階 参与員室

区 分		意見・提案要旨
プランの理念		あらゆる場面・分野でICTとデータの積極的な利活用を図る”攻めのICT利活用”という基本理念は良い。産・学・官の役割をはっきりと明記し、次に何をやるのかということが、わかりやすいプランにして欲しい。
データの利活用	環境・セキュリティ	<p>産業界が安心してデータを使える環境づくりを、官・学が主になって進めて行くことが重要。</p> <p>情報セキュリティはしっかり確保されながら、使いたいときにはいつでもデータが使えるという仕組みでなければならない。</p> <p>個人情報保護の問題など「阻害要因」を取り除いていくのは、官・学の責務であろうし、何を具体的にやっていくかが重要だ。</p> <p>データの主体、個人情報保護、医療情報なら医療情報内での統一等々、国主導でやってもらわないと動かないこともある。</p> <p>匿名加工は技術だけではできない。いろんなアイデアが出ているが、アルゴリズムを作るというのが至難の業である。再識別化を行った場合は罰する等、セキュリティについての踏み込んだガイドラインも必要となる。</p> <p>データは、行政内に抱え込まずにクラウド内で市町と共有するという姿が理想だ。</p> <p>信頼できる「データ取扱事業者」がないというのも課題だ。兵庫県で先例を。</p>
	オープン化	<p>データのオープン化は大きな力を持つ。今はこういうデータがあるということを民間事業者に示してその活用策を提案してもらうというやり方も非常に有用になってきている。</p> <p>オープン化にあたっては、ニーズ、希望がはっきりしているものから優先的にオープンにしていくということではいいのでは。</p> <p>仮説を立てて、メリットをイメージできるデータから対話ファーストで取り組むのがよい。</p> <p>「官」からいきなり「産」へではなく、まずは「学」に対してデータを公開してほしい。</p> <p>退職者の検診データがあれば、解析して健康長寿の施策検討に使える。行政に整備してもらいたい。</p>

区 分		意見・提案要旨
ICT人材育成	求められる人材	<p>人材をどう育成・確保するかということが重要になっている。ヘルスケアの分野や病院現場などで今何が起きているのかを押さえておく必要がある。医療現場では、情報システムを使わなければならないが、使えるスキルを持った人が少ない。</p> <p>大学での研究においても、現場で情報システムを扱えるような人材を育てるという視点に立つことが必要。</p> <p>情報スキルに長けた人ばかりでなく、民間できちんと学んで社会に出していけるような人材が望ましい。</p> <p>技術を使える人をどれだけ育てられるかが、キーになる。</p> <p>ICTを活用してどんなことについて、課題解決が図れるのか、さまざまな困りごとの解決にどう繋がるのかが重要だ。また、課題意識を持った人のリテラシーをどう上げて行くかということを考える必要がある。</p>
	育成の課題	<p>IT人材は何十万人も足りていないという指摘されているが、人材育成といっても、どういう技術者がどれだけ足りていないのかということをはっきりとしないといけない。ITを普及させようとしている時に、どれだけの技量・レベルを備えた人材をどれくらいの規模で備えなければならないとするのか。</p> <p>セキュリティエンジニアの技術者がもっとも少ない。サーバーエンジニア、データベースのエンジニアも足りていない。コンピューターサイエンスの知識・技術を持った人があまりにも少なすぎる。</p>
利用者側のICTリテラシー		<p>上位の人間にリテラシーを高めてもらわないと、IT化はなかなか進まない。</p> <p>業務改善は、やれそうなところからやるのがいい。</p> <p>個人の工夫を組織として認める仕組み、つまり自分が思ったやり方を評価してやれる仕組みがあれば良いのでは。</p> <p>企業規模で言えば大企業、年代で言えば20代のリテラシーが高い。</p> <p>もっと上のミドル世代(35から40歳くらい)になると、他の仕事で忙しくなってリテラシーが低くなる。もっと上の層になれば、またICTに関する情報インプットへの積極性が高くなり、リテラシーは高い。</p> <p>自治体でも課長クラスのリテラシーが低い。</p> <p>とにかく、まずはクラウドサービスを使ってみるといったところからスタートしてみるのがよい。</p> <p>いろんな機会を通じて最新ツールや知識を継続的に取り入れていくリテラシー教育は重要だ。</p>
行政の役割		<p>国のラウンドテーブルでの会議など、そうした場に進んで出て行ってやろうという人間自体が少ない。</p> <p>行政も、場づくりの面で役割を果たすだけでなく、もっといろんな機会に積極的に参加して、現場のことを知るべきだ。</p> <p>情報部門と原課が一体になってデータを活用する形が理想だ。</p> <p>また、“仮説を立てながら”進めることが大事。職員に頭で考えて行動してもらうことが肝要だ。</p> <p>都市部だけでなく、多自然地域でも同レベルでICTの恩恵を享受できる環境というものを実現してほしい。</p>